

ユニバーサル都市・福岡賞とは？

ユニバーサルデザインの考え方を市民の皆さんに分かりやすくお伝えし、もっと身近に感じていただけるように、優れた取り組みや製品開発、情報発信などを行っている個人・団体・企業などを表彰するものです。



ユニバーサル都市・福岡推進協議会
委員長 定村 俊満

今年度の最優秀賞、大日本印刷株式会社の「May ii(メイアイ)」は、福岡でも実験的に運営されており、実際に助かったという声を耳にしました。このアプリがきっかけとなり、困っている人に気軽に声をかけあえる街が実現することを心から期待します。

優秀賞の株式会社ACLAの折りたたみ電動カートは、ボタン一つで簡単に折りたたみができる機構に大きな展開性を感じました。障がい者や高齢者がこのカートを利用して世界中を旅することができる社会基盤の整備が期待されます。

アイデア賞の加来美月さんが考えてくれた「メロディー機能付き白杖」は、夢が溢れる先進的なスマート白杖で、すぐにでも実現してほしい素敵なアイデアでした。そして、市民特別賞の赤坂小学校5年生の生徒たちの数多くの提案は迫力満点で、赤坂への愛情がたっぷり詰まったものでした。

最後に「障がいのある高齢者の人生100年時代乗り切り策」を提案していただいた齊藤卓郎さんのエネルギーにも大きな拍手を送りたいと思います。来年度も優しさがいっぱい詰まった素晴らしい活動やアイデアをお待ちしています。

ユニバーサル都市・福岡推進協議会 委員名簿（敬称略）

委員長	定村 俊満	NPO法人FUKUOKAデザインリーグ 相談役
副委員長	平井 康之	九州大学大学院芸術工学研究院 教授
委員	石橋 隆	博多まちづくり推進協議会 事務局長
委員	猪野 猛	福岡商工会議所 事務局長
委員	藏田 隆秀	We Love 天神協議会 事務局長
委員	シグデル・プルンタム	福岡ネパールソサエティ 会長
委員	張 彦芳	九州大学大学院芸術工学研究院 講師
委員	関根 千佳	株式会社ユー・ディット 会長／同志社大学大学院 客員教授
委員	藤 比呂志	公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー 総務部長
委員	中原 義隆	NPO法人福岡市障害者関係団体協議会 相談役
委員	松浦 恭子	弁護士法人女性協同法律事務所 弁護士
委員	吉住 寛之	ユニバーサルデザインコンサルタント



ご参加いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

福岡市総務企画局企画調整部

〒810-8620 福岡市中央区天神一丁目8-1
電話:092-711-4864 FAX:092-733-5582
E-mail:ufc@city.fukuoka.lg.jp

みんながやさしい、みんなにやさしい

ユニバーサル都市・福岡賞2019 受賞者のご紹介



「ユニバーサル都市・福岡」について



ユニバーサル都市・福岡
UNIVERSAL FUKUOKA CITY

「ユニバーサル都市・福岡」とは、ユニバーサルデザインの理念に基づいた、誰もが思いやりを持ち、すべての人にやさしいまちのことであり、福岡市は、みんながやさしい、みんなにやさしい「ユニバーサル都市・福岡」をまちづくりの目標像として掲げ、市政の柱の一つとして推進しています。

●ユニバーサルデザイン(UD)とは？

年齢や性別、国籍、障がいの有無などに関わらず、全ての人が自由・快適に利用でき、行動できるような配慮をあらゆる場面で行っていこうとする考え方です。

ユニバーサルデザインの7原則

<p>1 公平性</p> <p>だれでも公平に利用できること</p> <p>事例 自動ドア</p>	<p>2 自由度</p> <p>使う上で自由度が高いこと</p> <p>事例 階段・エレベーター・エスカレーターを選択できる</p>	<p>3 単純性</p> <p>使い方が簡単ですぐわかること</p> <p>事例 使う機能が分かりやすく大きくて見やすい自動ドアのボタン</p>
<p>4 分かりやすさ</p> <p>必要な情報がすぐに理解できること</p> <p>事例 ピクトサイン</p>	<p>5 安全性</p> <p>うっかりミスや危険につながらないデザインであること</p> <p>事例 地下鉄ホームドア</p>	<p>6 体への負担の少なさ</p> <p>無理な姿勢をとることなく、少ない力でも楽に使用できること</p> <p>事例 交通系ICカード(はやかけんなど)</p>
<p>7 スペースの確保</p> <p>アクセスしやすいスペースと大きさを確保すること</p> <p>事例 幅の広い自動改札</p>		

※このリーフレットは見やすいUDフォントを採用しています。





最優秀賞

大日本印刷株式会社

スマホがつなぐ 助けあいアプリ
「May ii(メイアイ)」



観光客、ベビーカー使用者、高齢者、障がい者など、街中で困っている方にとって便利な「手助けがほしい」と「手助けできます」をつなぐ助けあいアプリ。1人でできるミッションで貢献したり、街中の困りごとや人々の貢献行動を可視化できるのも特徴です。

受賞者コメント



これからも様々な人たちの困りごとに気づいて「May I help you? (メイ・アイ・ヘルプ・ユー)」と声をかけ、支え合える街にしていきたいです。福岡の市民・企業、一緒になってこのアプリを活用いただけたらと思います。



優秀賞

株式会社 ACLA

ユニバーサル ツーリズムの裾野を広げる
「折りたたみ電動カートモニター提供事業」



「歩行に不安のある人でも気軽に旅行を楽しめる社会の実現」を目標に、「折りたたみ電動カート付ツアー」造成の働きかけを旅行代理店へ実施。観光地でのモニター利用や利用者アンケートから旅行・レジャーにおける折りたたみ電動カートの有用性を実証、普及促進をしています。

受賞者コメント



折りたたみ電動カートの普及が、歩行に不安を持つ方の社会参画を支えるという意義と、責任の重さを改めて感じました。今後も、旅行やお出かけの支援で、ご家族の笑顔を広げたいと思います。ありがとうございました。



アイデア賞

加来 美月

メロディー機能付き白杖



白杖に取り付けたセンサーが点字ブロックを感知すると振動で伝えると同時に、点字ブロックを歩いている間、自分の好きな音楽が流れる仕組みです。視覚障がいの人のまち歩きがより楽しくなれば!との思いからこのアイデアを思いつきました。

受賞者コメント



まさかの受賞に本当に嬉しく思います。このアイデアは、学校での白杖体験やUDの学習が大きなヒントになりました。大好きなこの街がみんなにやさしく、住みやすい街になるようこれからも思いやりの気持ちを大切にしていきたいです。



市民特別賞

福岡市立赤坂小学校

めざせ!ユニバーサルな町 赤坂



さらにユニバーサルな町になるために、自分たちの住む赤坂校区をユニバーサルデザインの視点から見直し、5年生なりに考察した未来プロジェクト。フィールドワークやインタビューもしながら、各々「できたらいいな!」マイプロジェクトプランを発案しました。

受賞者コメント



たくさんの方が評価してくださった証である賞に、子どもたちは「がんばってよかった」とこれからの意欲が高まったと思います。「みんながやさしい、みんなにやさしい」街を目指し、自分たちにできそうなことを増やしていきたいです。